

1号議案

令和2年度 事業報告書

令和3年5月12日
特定非営利活動法人地域人ネットワーク
代表理事 白瀧 康次
電話番号 048-689-0905

1. 事業の成果

当法人の目的は、会員が有する経験や知識・能力を生かして、団体として地域の課題に取り組み地域の発展に寄与すること、ならびに活動を通じて会員の「生きがい」と健康で自立性のある生活を創造することにある。

本年度も定款に定めた4事業、すなわち、パソコン教育事業、地域の情報交流を高める事業、まちづくりに係る協働事業、並びに見沼たんぼの環境保全と青少年育成を目的とした農業体験事業を推進したが、新型コロナウイルスの感染拡大により、一部の事業の計画変更や実施見送りを余儀なくされた。

これらの事業に対応した当法人の正会員数は令和2年度末で38名（男性26名、女性12名）である。

以下に事業毎に報告する。

1) 情報化社会に向けてのパソコン教育に関する事業

「パソコン相談サロン」は、IT時代に取り残されがちな高齢者市民を主な対象とした個人別の無料相談会として、毎月1回見沼区内の4つの公民館を巡回している。本年度は新型コロナウイルス感染拡大により8月から翌年1月まで計6回の開催にとどまったが、延べ41名の相談に応じた。平成17年4月の開設以来16年間では延べ1,929名になる。時代を反映してスマホやタブレットに関する相談も増え、相談者から大変感謝されている。

本年度外部から依頼された「パソコン講座」は、片柳コミュニティセンター主催のパワーポイントの講座1回（2日間）であったが、本年度も受講希望者が多く、また他の講座に比べて若年層が多いのが特徴的であった。

自主事業の「パソコン楽しみサロン」は、本年度は新型コロナウイルス感染拡大及び会場の七里コミセンが8月以降改修工事で使えなくなるため活動休止とした。

令和2年度から小学校で必須となった「プログラミング教育」に関して、昨年度はさいたま市マッチングファンドを活用してさいたま市との協働事業を推進し、本年度も事業継続が認可されたが、新型コロナウイルス感染拡大により事業遂行が不透明なため協働事業は中止した。代わって、地域の公民館との連携による夏休みプログラミング体験会を3回（参加者は計30名）、2日間コースのプログラミング実践教室を4回（参加者は計27名）開催した。

2) 地域の活性化に向けて情報交流を高めるための事業

地域の公益団体のホームページの運営を支援する活動を展開している。本年度は、長年にわたって協力関係にあったNPO 法人さいたまスポーツがコロナ禍のため解散となりホームページも閉鎖したが、その他の団体の支援は継続している。

当団体内のホームページ要員を養成するため、本年度は10月から1月にかけて8回にわたるホームページ勉強会を開催した。

3) まちづくりに関する提案および協働事業

NPO法人として以下のまちづくりや協働事業に参画したが、本年度は残念ながらコロナ禍により多くのイベントが中止となった。

- ◇ 見沼区市民活動ネットワーク
- ◇ 見沼・さぎ山交流ひろば運営協議会
- ◇ 未来遺産・見沼たんぼプロジェクト推進委員会
- ◇ 同上委員会発行の冊子「見沼旬彩」の編集・刊行活動
- ◇ 七里コミュニティセンター地域連絡協議会
- ◇ 東大宮コミュニティセンター地域連絡協議会
- ◇ 見沼区ふれあいフェア参加及び出展
- ◇ さいたま市市民活動推進委員会
- ◇ 見沼たんぼの文化遺産・フナノ保存会

4) 環境保全および青少年育成支援を目的とした農業体験事業

埼玉県の見沼たんぼ公有地利活用事業に平成20年度から参画し、「見沼たんぼ菜の花農業体験教室」として、埼玉県から委託された公有地の保全管理をしながら、公募した県民が見沼たんぼの自然に接し農業体験ができる事業を展開している。

本年度は32家族109名の一般応募参加者を得て、9回の農業体験教室を計画したが、新型コロナウイルス感染防止のために第1回、第2回及び第9回が中止となった。本年度開催した6回の体験教室参加者は延べ337名（うち、子ども149名）であった。平成20年以前の子ども教室を含めると、教室の開催は132回、一般参加者数は延べ5,954名（うち、子ども3,083名）を数える。

昨年度以降、耕作地面積が広がったことに伴い、農作業の機械化を進めている。昨年度は公益財団法人サイサン環境保全基金の助成金によりトラクターを買い替えたが、本年度は同じ基金の認可を得てハンマーナイフモアを購入した。緑肥作物の漉き込みによる土壌改良とともに耕作地周辺の除草による景観向上と環境保全に役立てたい。

本事業を推進するため本年度の体験教室の運営と日常の田畑の保守管理に従事した当会メンバーの人数は延べ900名であった。

2. 事業の実施に関する事項（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（1）特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施時期・頻度	実施場所	従事者の人数	受益対象者 範囲 人数		支出額 (千円)
情報化社会に向けてのパソコン教育に関する事業	パソコン相談サロン	8月より1月まで月当り1回	見沼区内公民館	延べ36名	見沼区内シニア・主婦	延べ41名	46
	パソコン講座	8月に2日間のパワーポイント講座を1回	片柳コミュニティセンター	延べ10名	さいたま市内	延べ24名	
	パソコン楽しみサロン	コロナウイルス感染防止と会場の改修工事のため1年間休会	七里コミュニティセンター	0名	さいたま市内	0名	
	プログラミング講座 小学生向け体験教室 小学生向け実践教室	半日3回 2期全4回	公民館 公民館	延べ19名 22名	市内小学生 小学生	延べ30名 27名	
地域の活性化に向けて情報交流を高めるための事業	公益団体ホームページの更新・保守管理	全期間、適時	事務所他	延べ60名	見沼区内市民	不特定	
まちづくり提案と協働事業	市民活動ネットワークへの参画	4月より3月まで	見沼区、さいたま市	延べ20名	さいたま市、見沼区	不特定	2
	見沼区区民フェア等への参画	4月より3月まで	見沼区、さいたま市	延べ25名	さいたま市、見沼区	不特定	
環境保全と青少年育成を目的とした農業体験事業	見沼たんぼ菜の花農業体験教室（埼玉県委託事業）	5月より3月迄教室開催6回および全期間にわたり田畑管理	見沼たんぼ	延べ105名（委託事業全体で延べ900名）	埼玉県県民	延べ337名	1,574